

Ⅲ 事業実施状況

1. 先天性代謝異常等検査実施状況

(1) 先天性代謝異常検査

区分 年度	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査				
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果			
			正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	経過観察	陽性	陽性の内訳
25	6,495	104.8	6,325	94	-	76	329	308	19	2	-	2	-	2	-	-
26	6,358	104.9	6,180	129	2	47	400	350	37	12	1	15	15	-	-	-

(1)-1 ガラクトース血症検査

区分 年度	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査				
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果			
			正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	経過観察	陽性	陽性の内訳
27	6,436	107.5	6,303	24	-	88	456	450	2	2	2	2	2	-	-	-
28	6,093	104.7	5,939	25	-	119	455	413	1	4	4	4	2	2	-	-
29	6,051	106.1	5,921	25	-	105	332	327	-	4	1	4	3	1	-	-

(1)-2 先天性副腎過形成症検査

区分 年度	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査				
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果			
			正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	経過観察	陽性	陽性の内訳
27	6,436	107.5	6,316	106	1	13	456	424	25	6	1	7	6	1	-	-
28	6,093	104.7	5,985	102	1	5	455	420	29	6	-	7	4	3	-	-
29	6,051	106.1	5,964	77	1	9	332	311	19	2	-	3	-	2	1	先天性副腎過形成症

* 受検率は、初回検査数の出生数に対する率である。

* H27より「先天性代謝異常検査」の内容を「ガラクトース血症検査」及び「先天性副腎過形成症検査」に分割してしている。

(2) クレチン症検査

区分 年度	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査			
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果		
			正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	経過観察	陽性
25	6,495	104.8	6,423	57	2	13	329	324	-	5	-	7	2	-	5
26	6,358	104.9	6,279	68	3	8	400	392	5	3	-	6	2	3	1
27	6,436	107.5	6,376	48	-	12	456	451	1	3	1	3	2	-	1
28	6,093	104.7	6,028	60	1	5	455	352	2	4	-	4	-	3	1
29	6,051	106.1	5,987	54	2	8	332	325	7	-	-	2	-	-	2

* 受検率は、初回検査数の出生数に対する率である。

(3) タンデムマス法検査

区分 年度	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査					
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果				
			カットオフ値内	再採血	要精密検査	判定保留		検体不良	カットオフ値内	再採血	要精密検査		判定保留	検体不良	正常	経過観察	陽性
26	6,421	105.9	6,336	34	3	48	-	386	377	5	4	-	-	7	1	5	1
27	6,481	108.2	6,294	90	2	90	5	458	410	35	11	1	1	14	3	9	2
27	6,481	108.2	6,294	90	2	90	5	458	410	35	11	1	1	14	3	9	2
28	6,091	104.7	5,905	76	-	107	3	453	403	42	5	3	-	5	2	3	-
29	6,052	106.1	5,944	5	1	102	-	331	330	-	-	1	-	-	-	-	-

2. 母子保健推進事業

(1) 母子保健評価運営委員会

種別	内容	月日	出席者数
評価運営委員会	母子保健の現状について 健やか親子21(第2次)の推進について 子育て世代包括支援センター・産婦健康診査について 新生児聴覚検査について 産前産後ケアセンター事業について その他	3月13日	19
			19

(2) 保健所母子保健推進会議

保健所名	種別	内容	月日	出席者数
中 北	母子保健推進会議	1) 講義 「長野市産後うつ病対策の取組み」 長野市保健所 健康課 係長 鹿田加奈保健師 2) グループワーク ～さらに連携をすすめるために中北管内として 実践できること～	7月26日	40
		1) 取り組み状況・課題の共有 2) 事例検討・グループワーク 3) 産後うつ啓発ポスターについて	1月31日	31
	市町担当者会議	・子育て世代包括支援センターについて ・産婦健康診査事業について ・新生児聴覚検査について	5月19日	12
		・子育て世代包括支援センターについて ・産婦健康診査事業について	9月25日	10
峡 北	母子保健推進会議	実績無し	-	-
	市担当者会議	・管内の母子保健地域組織育成の状況について	5月11日	6
		・管内母子保健の状況について情報共有 ・産婦健康診査について ・新生児聴覚検査について ・その他(各市子育て包括支援センターの情報交換等)	9月7日	7
		・管内の母子保健地域組織育成の状況について	3月27日	6
峡 東	母子保健推進会議	実績無し	-	-
	市担当者会議	1) 今年度の母子保健事業について 他市との情報共有 子育て世代包括支援センター 2) 峡東管内母子保健研修会について 3) その他 母子保健医療対策総合支援事業について ・産婦健康診査事業 ・新生児聴覚検査体制整備事業 助産師定例研究会について 情報交換等	9月15日	15
		1) 産婦健康診査事業、新生児聴覚検査について 2) 峡東地域母子保健研修会について 3) 母子保健統計、保健師活動統計の分析について 4) その他 HTLV-1母子保健感染予防研修について(伝達)	3月19日	13

峡 南	母子保健推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・峡南地域の母子保健に関する指標説明 ・実践報告「子どもの成長と生活習慣の課題」 講師 身延清陵小学校 養護教諭 有野 久美氏 ・意見交換 	1月18日	22
	市町村担当者会議	<ul style="list-style-type: none"> ・会議要領および年間計画案の確認 ・乳幼児健診要フォロー児について情報交換 	5月15日	10
		<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診要フォロー児について情報交換 ・支援体制の検討 	7月21日	10
		<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度母子保健統計の様子(峡南地域) ・各町での峡南生涯健康づくりプロジェクト リーフレット等の活用状況 ・昨年度までのプロジェクトで母子の課題について 	9月21日	9
		<ul style="list-style-type: none"> ・産婦健診について ・産婦健診後のフォロー体制について 	11月24日	9
		<ul style="list-style-type: none"> ・富士川町子育て世代包括支援センター運営について 	1月29日	8
		<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度のまとめ ・平成30年度の計画 	3月16日	8
富 士・東 部	母子保健推進会議	実績無し	-	-
	市町村担当者会議	【第1回】 ○市町村と病院の連携について <ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク妊婦の評価表およびフロー図の活用状況 ・課題および改善策について ○産後うつ病に対する取り組みについて ○子育て世代包括支援センターについて ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関からの情報提供 	6月2日	19
		【第2回】 ○市町村と医療機関の連携について <ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク評価表の使用方法について確認 ・平成27年度からの取り組み結果還元 ○産後うつ病に対する取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ・各機関での取り組みの情報共有と課題の整理 	1月11日	15
合 計				250

(3) 研修、事例検討会

保健所名	内容	出席者数
中 北	・事例検討会の進め方について ・事例検討	19
	・事例検討会の進め方について ・事例検討	14
峡 北	新任期保健師研修 事例検討「妊娠出産育児支援」	6
峡 東	健診対象児の発達についての講義「1歳6ヵ月」 保健師が実際の事業場面で悩んだ場面について講師からの助言・検討	21
	健診対象児の発達についての講義「2歳児」 保健師が実際の事業場面で悩んだ場面について講師からの助言・検討	26
	健診対象児の発達についての講義「3歳児」 保健師が実際の事業場面で悩んだ場面について講師からの助言・検討	24
	健診対象児の発達についての講義「5歳児」 保健師が実際の事業場面で悩んだ場面について講師からの助言・検討	21
峡 南	実績なし	-
富 士・東 部	事例検討会 「育児不安のある母親への対応」	8
合 計		139

(4) 母子保健ライブラリー

母子保健に関する健康教育や保険指導等に活用できる専門図書、視聴覚教材、特殊模型、おもちゃ等を整備し母子保健関係者等に閲覧、貸し出しをおこなう事業。
中北保健福祉事務所合同庁舎に設置。

区分 年度	閲覧者数	貸し出し 件 数	貸し出しの 内 容(件数)			
			図 書	視聴覚教材	教材・おもちゃ	機 材
23	35	58	1	14	19	24
24	35	35	4	4	29	-
25	31	31	2	4	26	-
26	33	33	2	8	27	-
27	25	25	-	1	24	-
28	14	14	-	2	12	-
29	16	16	40	2	14	-

3. 母子保健地域組織(愛育会)育成

(1) 地域組織育成者等研修会

① 県実施

月日	内容	出席者数
	実績なし	

② 保健所実施

	内容	回数	出席者数
中 北	会長研修会、理事研修会	5	126
峡 北	班長研修会	2	95
峡 東	実績なし	-	-
峡 南	活動発表会、グループ討議	1	57
富士・東部	ミニ講義	2	12

(2) 組織の状況

(平成29年6月30日)

保健所名	組織結成 市町村数	班 数	分班数	班員数	会員数
中 北	4	29	422	5,041	86,384
峡北支所	3	48	240	1,602	46,630
峡 東	2	9	40	320	10,170
峡 南	5	13	116	487	6,924
富士・東部	8	10	37	350	16,071
計	22	109	855	7,800	166,179

4. 長期療養児療育指導事業(平成29年度)

(1)療育等相談指導事業

①相談回数

	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経/筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に変化を伴う疾患	皮膚疾患群	その他長期療養児	計
実人数	74	42	36	54	152	35	35	6	9	6	58	46	9	3	-	565
延人数	80	47	59	69	185	41	83	6	9	7	114	55	12	4	-	771

②相談理由

	相談結果			
	指導済み	経過観察	他機関紹介	その他
家庭看護	328	21	-	-
食事・栄養	31	3	-	-
歯科保健	-	-	-	-
福祉制度の紹介	32	2	-	-
精神的支援	10	-	-	-
自立心の育成	-	7	-	-
学校等との連携調整	14	5	-	-
家族会等の紹介	3	-	-	-
その他	514	9	4	-
計	932	47	4	0
養育医療給付児(再掲)	-	-	-	-
育成医療給付児(再掲)	-	-	-	-
小児慢性特定疾患給付児(再掲)	932	47	4	-

(2)巡回相談事業

①個別相談回数

	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経/筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に変化を伴う疾患	皮膚疾患群	その他長期療養児	計
実人数	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
延人数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

②集団相談

管内	相談者数	内容

(3)ピアカウンセリング

管内	回数	参加数	(再掲)児	内容
峡北	1	7	1	第1回交流会 「てんかんをもつ子どもの保護者の交流会」支所管内在住の小児慢性特定疾患受給児の母2名に体験談を語っていただいた。その後、県外病院の受診について、治療薬について等自由に意見交換を行った。
峡南	1	3	0	軟骨無形成症をかかえる家族の交流会
富士・東部	1	5	2	ブラダー・ウィリ症候群をもつ児の保護者交流会
計	3	15	3	

(4) 交流会、学習会

管内	回数	参加者数	(再掲)児	内容
中 北	1	3	-	慢性腎疾患のつどい ～子どもが病気と上手につき合うために～
峡 北	1	7	1	第1回交流会 「てんかんをもつ子どもの保護者の交流会」支所管内在住の小児慢性特定疾病 受給児の母2名に体験談を語っていただいた。その後、県外病院の受診につ いて、治療薬について等自由に意見交換を行った。
峡 北	1	7	2	「病気をもつ子どもへの関わり方」というテーマで交流会を開催。山梨大学大学 院総合研究部 教授 中込さと子先生に「家族のコミュニケーション」という題で 講義を頂いた。その後、きょうだいの接し方や学校生活について等様々な意 見交換を行った。
峡 東	1	5	2	「保護者のつどい(心疾患)」 対象者：山梨県内の心疾患の児をもつ保護者 助言者：山梨大学大学院工学総合研究部中込さと子教授 小児慢性特定疾病児童等自立支援員 有田 明美看護師
峡 南	1	4	-	小児慢性特定疾患児童及び家族のつどい 講師 山梨大学大学院総合研究部 教授 中込さと子氏 小児慢性特定疾病児童等自立支援員 有田明美氏
富士・東部	1	5	2	ブラダー・ウィリ症候群をもつ児の保護者交流会
計	6	31	7	

(5) 支援関係機関(者)連絡会議

管内	参加者		処遇検討し たケース数	内容
	回数	人数		
中 北	8	78	8	・最近の療養状況の確認 ・災害時個別支援計画の確認 ・支援方針の確認
峡 北	2	20	2	関係機関での情報共有及び今後の支援について検討。
峡 東	8	56	21	ケースの情報共有、支援方法の検討
峡 南	0	5	1	交流会に本人、家族が参加下のをきっかけに、関係者で児童の情報を共有。今 後の支援の方向性を確認した。
富士・東部	2	21	2	・入院時の様子と退院後の注意点等について共有 緊急時の受診体制について確認 ・緊急時の受診体制について 療養状況等の確認・共有
計	20	180	34	

(6) 発達等母子保健専門相談(遺伝相談)(平成29年度)

①各保健所での保健師による一次相談

	相談 実件数			相談	相談来所 延人数	医師との 相談紹介 実件数
	来所相談	電話相談				
中北	-	-	-	-	-	-
峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-
計	0	0	0	0	0	0

(相談内容)

	相談件数	内 容
ア 子どもの発達に関する相談		
イ 疾患に関する相談		
ウ 出生前診断に関する相談		
エ その他		
計	0	

②医師による二次相談

相談申し込み保健所名	相談申込 件数	相談 実件数	相談 延件数	相談来所 延人数	相談終了 実件数	相談継続 実件数
中北	-	-	-	-	-	-
峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-
合計	0	0	0	0	0	0

(相談内容)

	相談件数	内 容
ア 子どもの発達に関する相談		
イ 疾患に関する相談		
ウ 出生前診断に関する相談		
エ その他		
計	0	

5. 女性健康相談事業

女性健康相談センター

年度	実相談人数		相談延件数	
	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談
23	10	395	18	399
24	56	583	64	584
25	36	549	38	549
26	44	548	44	548
27	65	499	65	499
28	117	432	117	432
29	162	429	162	429

平成19年8月開設、平成23年度より各保健所に窓口移行

6. 不妊治療相談事業

不妊専門相談センター(ルピナス)

年度	実相談人数		相談延件数	
	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談
23	71	22	170	64
24	90	34	236	97
25	93	29	281	88
26	93	27	293	95
27	88	24	289	69
28	87	26	276	81
29	66	6	251	33

平成16年4月開設

7. 特定不妊治療費助成事業

年度	実給付組数	延べ給付件数	新規給付組数(再掲)	給付金額
23	398	722	195	102,402,681
24	469	828	251	118,200,071
25	497	871	239	115,072,259
26	586	1010	314	134,725,129
27	588	989	280	139,716,573
28	542	874	304	155,583,351
29	402	759	237	132,540,652

- ・平成19年度:1年度あたり1回10万円を限度に2回まで、通算5年間助成
- ・平成21年度:1年度あたり1回15万円を限度に2回まで、通算5年間助成
- ・平成23年度:1年度目は年3回まで、2年度目以降年2回を限度に通算5年間助成
- ・平成25年度:C(以前凍結した胚を用いた移植及びF(受精に用いられる卵が得られなかった)場合の助成額が7万5千円に変更
- ・平成26年度:平成25年度までの申請者及び平成26年度も新規に申請した40歳以上の方に関しては従前の通り。平成26年度に新規申請した、治療開始時点で39歳以下の方は年間回数制限なしの計6回を限度に助成
- ・平成27年度1月:男性不妊治療に対して上乗せ助成。初回申請時の助成上限額の拡充
- ・平成28年度:妻の治療開始時点の年齢が、39歳以下の場合6回、40歳から42歳の場合3回を上限に助成。43歳以上は助成対象外。

8. 小児医療給付

(1) 養育医療給付状況

年度／生下時体重	25	26	27	28	29					
					総計	中北	峡北	峡東	峡南	富士・東部
～ 1,000g	20	25	17	20	16	8	2	4	1	1
1,001g ～ 1,500g	28	29	17	25	24	9	3	5	1	6
1,501g ～ 1,800g	26	30	26	23	32	16	4	5	4	3
1,801g ～ 2,000g	28	40	35	35	41	20	7	6	3	5
2,001g ～ 2,300g	1	5	8	6	4	2	0	0	1	1
2,301g ～ 2,500g	0	3	0	1	1	0	0	0	0	1
2,501g ～	0	5	7	2	3	1	0	1	0	1
合 計	103	137	110	112	121	56	16	21	10	18

(2) 小児慢性特定疾病医療費支給認定事業給付状況

年度 区分	24	25	26	27	28	29
悪生新生物	75	120	67	79	78	74
慢性腎疾患	68	87	66	65	56	43
慢性呼吸器疾患	37	47	33	36	33	33
慢性心疾患	40	57	45	56	54	58
内分泌疾患	261	259	221	199	170	159
膠原病	26	35	24	26	30	32
糖尿病	47	54	52	42	38	37
先天性代謝異常	26	28	21	7	8	6
血友病等血液疾患	17	20	17	13	13	13
免疫疾患				5	5	5
神経・筋疾患	31	50	38	52	44	53
慢性消化器疾患	29	41	31	42	47	50
染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群				2	4	5
皮膚疾患				3	2	3
合 計	657	798	615	627	582	571

※平成27年度から、免疫疾患、染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群、皮膚疾患が内訳に追加。

(3) 育成医療給付状況

区分		年度			29					
		26	27	28	総計	中北	峡北	峡東	峡南	富士・東部
肢体不自由	入院	8	13	16	10	1	6	2	1	0
	通院	9	28	10	7	2	2	2	1	0
視覚障害	入院	5	3	2	0	0	0	0	0	0
	通院	2	4	0	0	0	0	0	0	0
聴覚・平衡機能障害	入院	3	8	1	0	0	0	0	0	0
	通院	3	6	1	0	0	0	0	0	0
音声・言語機能障害	入院	24	45	41	21	9	5	3	2	2
	通院	277	204	105	100	38	27	24	5	6
心臓障害	入院	44	39	34	50	11	17	14	2	6
	通院	2	5	1	4	0	1	0	1	2
腎臓障害	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通院	10	3	1	0	0	0	0	0	0
小腸障害	入院	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	通院	1	2	0	0	0	0	0	0	0
肝臓障害	入院	1	4	0	0	0	0	0	0	0
	通院	2	11	0	1	1	0	0	0	0
その他の内臓障害	入院	10	9	5	6	0	2	2	2	0
	通院	3	10	2	6	0	2	2	2	0
免疫機能障害	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通院	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		405	395	219	205	62	62	49	16	16

* 平成22年度から肝臓障害が追加